

お口の中に入っている金属が気になる方

金属アレルギーでお困りの方へ

お口の中に銀歯が入っていませんか？

日本人のお口の中に多く使用されている保険の銀歯・・・その詰め物、被せ物は「**アマルガム**」という**水銀**でできているものか、「**金銀パラジウム合金**」という合金でできています。

実はこれらの金属は世界の中で日本でしか使用されていません。

「**金銀パラジウム合金**」は金 12%、銀 50%、パラジウム 20%、銅 17%、その他(亜鉛、インジウム、イリジウム等)・・・いわゆる**銀合金**です。

「**水銀**」は体内に入り、タンパク質と結合すると水泡状の湿疹の症状がでる**金属アレルギー**を引き起こすことがあります。「**パラジウム**」は、リンパ球幼若化テストという検査で、約半数の方に陽性反応が出る**金属アレルギーの原因**になる物質です。

イギリスでは、1998年4月厚生省がアマルガムの詰め物をしないように警告を発しています。また医療先進国のドイツやスウェーデンでも健康福祉局は、**パラジウム**や**水銀**、**銅**などの毒性が強いことを考慮して、これらの金属を**使用禁止**にしています。

では、なぜ日本はパラジウムを使用した詰め物、被せ物をしているのでしょうか？

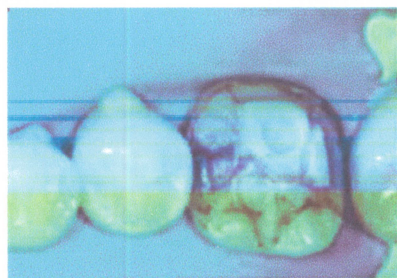
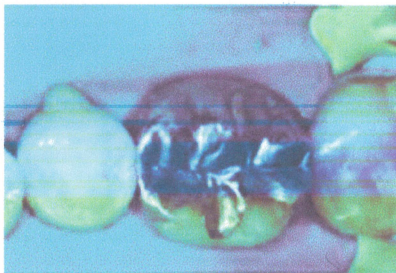
「**金銀パラジウム合金**」は50%が**銀**なので**腐食**しやすいのです。その耐蝕性を補うために**パラジウム**を使用しているのです。

銀でできたアクセサリーや食器などはすぐ黒くなりますよね？お口の中はさらに環境変化が著しく、熱いもの、冷たいものを食べて温度変化も激しく、さらには**食後 30分**でお口の中のPHは5.5まで低下します。**PH5.5**は**酸性雨**と同じPHなので金属はどんどん**腐食**していきます。

下の写真をご覧ください。患者さんご自身の自覚症状はなかったのですが、審美的な理由とレントゲンで**銀歯の下に虫歯**ができていたのを確認したので、銀歯を外した直後の写真です。

外してみると…銀歯の下は知らず知らずのうちに**虫歯が進行**していました。

この症例は神経を取らずにすみました。さらに進行していた場合は神経を取らないといけない場合もありますので注意が必要です。



ご自分の歯に代わる物はこの世の中にはありません。お金を出しても買う事はできません。ご自分の歯で噛むことの大切さ、1本の歯の価値をもう一度考えてみて下さい。

当クリニックでは、以上のようなことから、メタルフリー治療をお勧めしております。

ご興味がありましたら当院の医師、スタッフまでお気軽にお問合せください。